

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭63-169303

⑬ Int.Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和63年(1988)11月4日

B 60 B 27/02
F 16 C 33/78

7006-3D
D-7617-3J

審査請求 未請求 (全2頁)

⑮ 考案の名称 自転車用ハブのシール構造

⑯ 実 願 昭62-63262

⑰ 出 願 昭62(1987)4月25日

⑱ 考 案 者 長 野 正 士 大阪府和泉市緑ヶ丘74-19

⑲ 出 願 人 島野工業株式会社 大阪府堺市老松町三丁77番地

⑳ 代 理 人 弁理士 津田 直久

㉑ 実用新案登録請求の範囲

ハブ軸1の外周に、該ハブ軸1に螺着する玉押し4をもった軸受6を介してハブ胴2を回転自由に支持して成る自転車用ハブのシール構造であつて、前記玉押し4の外周部と、該玉押し4の外周部に対向する前記ハブ胴2の内周部との一方に保持面9を設け、他方に該保持面9と対向する環状凹溝10と接触周面11とを設け、前記環状凹溝10内に遊嵌合する環状嵌合部8aと、前記接触周面11と対接する環状接触部8bとをもった環状シール材8を、前記保持面9に保持するごとく

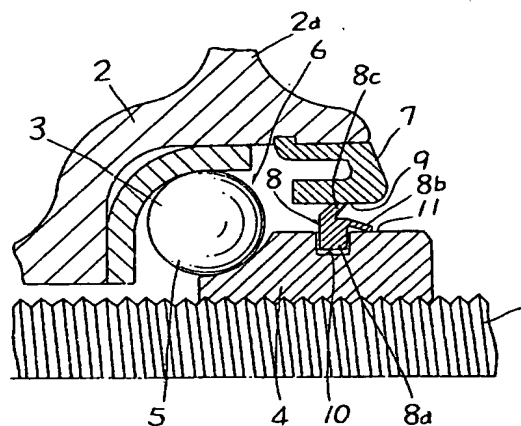
したことを特徴とする自転車用ハブのシール構造。

図面の簡単な説明

第1図は本考案にかかるシール構造の要部を示す断面図、第2図は同シール構造を備えた自転車用ハブの全体構造を示す一部切欠正面図である。

1……ハブ軸、2……ハブ胴、4……玉押し、5……軸受、8……シール材、8a……環状嵌合部、8b……環状接触部、9……保持面、10……環状凹溝、11……接触周面。

第1図



第 2 図

